

科目名		労働衛生工学論文指導	
科目責任者		東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)	
開講時期:	3～4年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>実験動物を用いた吸入曝露法で得られた結果を論文としてまとめて、化学物質の生体影響を総合的に理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学物質と生体に関するテーマを見出すことができる。 2) 実験動物を用いた吸入曝露試験における個々のデータの意義を見出すことができる。 3) 自分のテーマが化学物質の生体影響に果たす意義を見出すことができる。 4) 自分のテーマの意義を論理的に記述することができる。 5) 研究の対象、および用いた実験方法を簡潔に記述することができる。 6) 解析結果を論理的に、明瞭に記述することができる。 7) 得られた結果を統計学的手法を用いて適切に考察することができる。 8) 得られた結果を過去の研究結果との関連で考察し、記述することができる。 9) 得られた研究結果の今後の展望を記述することができる。 			
● 評価方法	学会・討論会における発表40%、報告書60%または論文60%で総合評価する。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		